

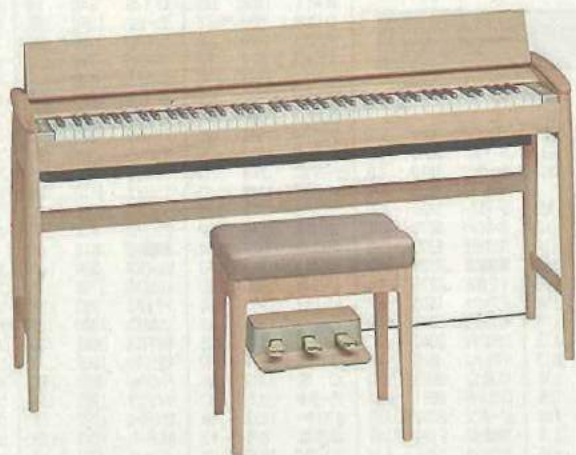
ローランドの家具調電子ピアノ

NYの美術館 ネット販売へ

電子楽器大手のローランド（浜松市北区）が手掛ける天然木を使った家具調デザイン「KIYOLA（きよら）」が二

十四日から、米国のニューヨーク近代美術館がインターネット上に開設しているオンラインストアで販売される。期間は半年で、ロー

ランドの広報担当者は「インテリア的な要素を備えたデザインを評価してもらえた」と話している。オンラインストアは、二



④ニューヨーク近代美術館のオンラインストアで販売される電子ピアノ「KIYOLA」
⑤KIYOLAの新色「シアブラック」(中央)の設置イメージ (いずれもローランド提供)



ニューヨーク近代美術館が厳選した各地の雑貨やインテリアの製品を取りそろえる。ローランドによると、きよらがイタリアで昨年開かれた家具の見本市で紹介されるなどした際に、同美術館関係者の目に留まり、出品が決まった。

きよらは、ローランドがカリモク家具（愛知県東浦町）と共同開発し、二〇一五年に発売した。室内で周りの家具と調和することを狙い、木の風情を感じさせるデザインが特徴。本体部分のキャビネットをカリモクの職人が手作りし、浜松市北区にあるローランドの工場で完成させ、「国産モデル」と銘打っている。

オンラインストアでは、木材本来の色合いを生かした「ピュアオーク」の一角が扱われる。「ピアノの新しい楽しみ方や、ライフスタイルの提案につながれば」と広報担当者は期待する。

ピュアオーク色は三十四万六千円前後。二十日には、新色「シアブラック」（三十七万円前後）を四百台限定で発売した。

（久下悠一郎）